

整備が進む地域高規格道路 ～下北半島縦貫道路～

- 令和4年度、「野辺地七戸道路」、「奥内バイパス」の事業化により、全線事業化を達成。
- 国土強靱化予算の獲得により、ここ数年で事業が大きく進捗。
- 令和4年度、むつ南バイパスのうち2.1 kmを部分供用予定。

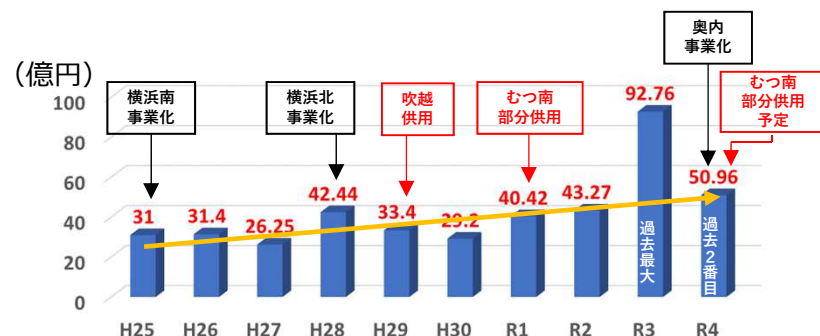


供用済工区：26.6 km

野辺地B P：6.9 km
 有戸B P：6.3 km
 有戸北B P：6.3 km
 吹越B P：5.8 km
 むつ南B P：1.3 km
 (むつ尻屋崎IC～むつ東通IC 部分供用)

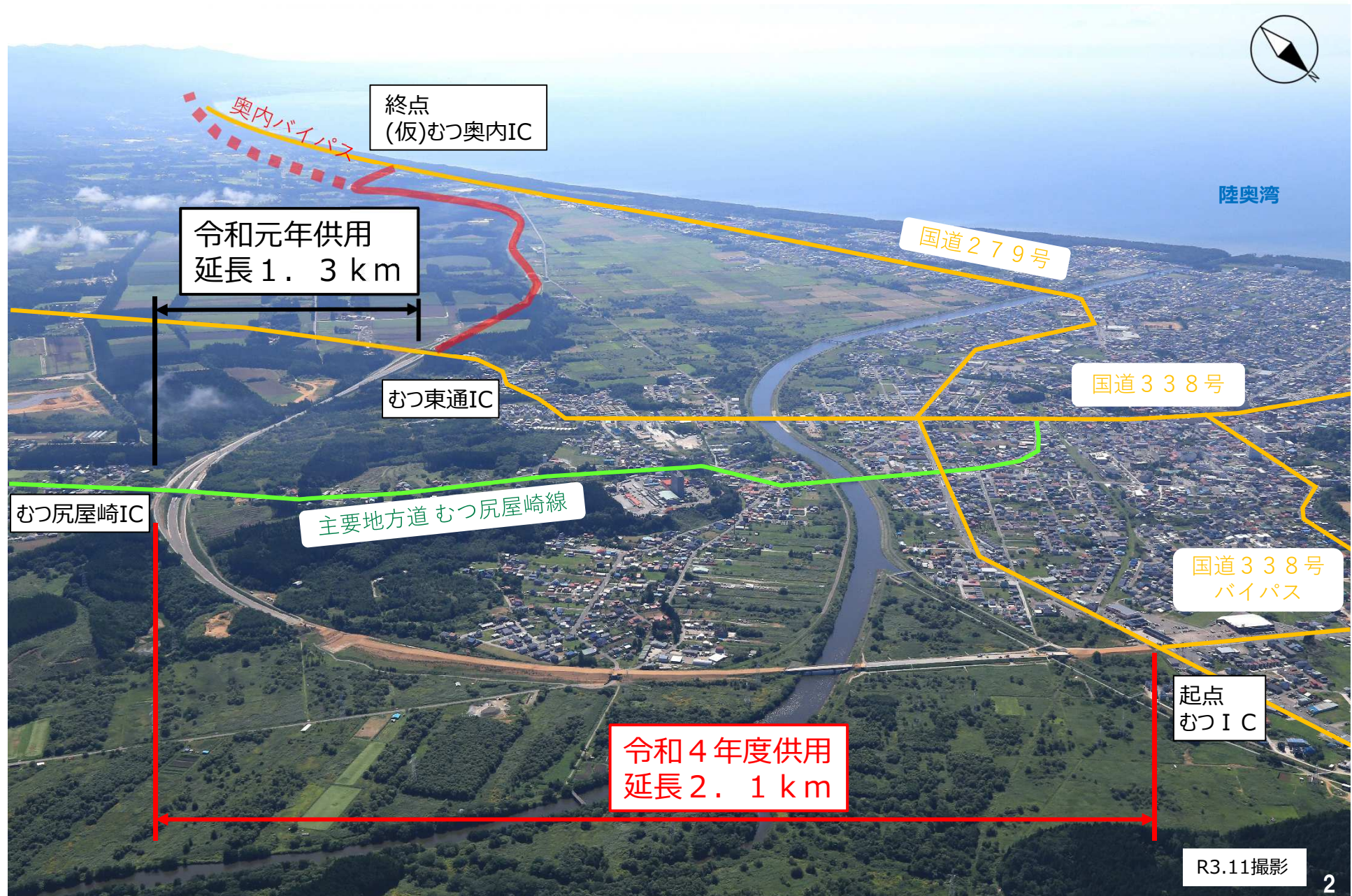
事業中工区：42.9 km

むつ南B P (H15～)：7.4 km
 奥内B P (R4～)：11.0 km
 横浜北B P (H28～)：10.4 km
 横浜南B P (H25～)：7.0 km
 野辺地七戸道路 (R4～)：7.1 km ※国施工



▲下北半島縦貫道路の予算推移 (前年度補正予算を含む)

むつ南バイパス (L=8.7km)



横浜北バイパス (L=10.4km)



横浜南バイパス (L=7.0km)



陸奥湾

(仮)横浜IC

函渠工事

吹越駅

主要地方道 横浜六ヶ所線

横浜南バイパス
H25～

横浜北バイパス
H28～

至 六ヶ所村

横浜吹越IC

吹越バイパス
H29供用

JR大湊線

国道279号

至 野辺地町

至 六ヶ所IC

R3.11撮影